

「交通空白」は、地域と個人の成長を阻む“見えない壁”

通学・通院・買い物・旅行に
お困りごとを抱える方々
(移動手段の不足)

表面の課題

家族送迎負担
(主に現役世代の無償労働)

多岐にわたる「機会損失」・「国民負担」

地域の担い手不足、所得の低下
消費の低迷、観光消費の減退
高齢者の健康面への悪影響・医療／介護負担増大
子どもたちの学ぶ機会や将来の可能性の喪失

内在する
本質的な課題

地域の衰退、都市への人口流出、
少子化の深刻化

地域と個人の成長力を掘り起こすため、「交通空白」解消を深化・加速化

「交通空白」解消は成長投資

「交通空白」は、約10兆円の経済・社会的損失をもたらす、地域と個人の成長を阻む“見えない壁”

「交通空白」が生み出す経済・社会的損失(試算)

1



約5.8兆円

可処分時間の喪失

・家族送迎による

2



約1.2兆円

地域消費損失

・買い物機会の減少
・外食・文化活動への参加減少

3



約2.3兆円

観光消費損失

・訪日外国人旅行者の地方
周遊の減少

4



約0.8兆円

医療・介護負担増

・外出控え
・健康悪化リスクの増大

このほか、子どもの将来の可能性の喪失等がありうる

全国・年間の合計

約10兆円

経済・社会的損失

※一定の前提に基づく試算

「交通空白」の解消で取り戻せる価値

失われた時間・機会を回復し、
地域と個人の成長へ



就労や地域活動等
への時間の振り向け



地域消費の活性化



観光振興・交流拡大



健康寿命の延伸
医療・介護負担の抑制



地域交通は「多様な地域課題解決のための社会インフラ」

生活、医療・福祉、観光、教育、地域活動等と結びつけて捉えることが重要